

令和5年度 学校関係者評価のまとめ

今年度の重点「まなびづくり」では、子どもたちの授業の様子を拝見すると、今日の授業の課題について、子どもが「どうしてだろう」と問いをもち、その問いの解決に向けて子ども同士が対話を進めながら意欲的に学んでいる様子が見られ、学校全体で「協働の学び」を軸にした学びが行われているように感じる。それは、先生方同士がラーニングコミュニティ（LC）という授業研修を通して教師としての専門性を同僚同士で高め合ったり、外部の専門的な指導者から指導を受ける研修体制を整え先生方同士で学び合ったりするなどして、先生方一人ひとりがご自身の課題を明確にしながら日常的に授業づくりに励んでいただいた成果であると思う。

また、「なかまづくり」では、今年度、学年を越えた交流活動の充実に向けて、縦割り班で触れ合う交流活動や清掃活動、運動会での縦割り班種目などの異学年の交流活動によって、子ども同士で支え合いながら力を合わせて生き生きと取り組む姿がたくさん見られた。また、中学年を中心に地域の方と触れ合いながら自分たちの課題を解決していく様子も見られ、そのことは我々地域住民にとってもたいへん喜ばしいことであった。

校長先生から示された次年度への展望では、対話を基盤とした「協働の学び」を軸とした学びのさらなる定着に向けて教育活動全般で取り組んでいくことや、互いを認め、地域と関わる活動を大切にされた探究の学びの推進、心を開いて主体的に学び合う集団づくりのさらなる充実を図る自己有用感の育成が示されている。それらを実現されれば、地域のよさを生かした、より豊かで楽しい学校教育活動となり、一人一人の子どもたちがより生き生きと活躍する姿が期待できる。我々学校運営協議員も学校運営に関わる一員として、また地域住民の一員として、地域と学校の橋渡しができるよう精一杯取り組んでいきたい。

大町市立大町西小学校 学校運営協議会
会長 柳澤 英幸